

一般的な指導及び監督指針12項目（国交省告示1366号）
 「項目⑧ 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法」 理解度チェック

実施日	受講者名	管理者	指導者
令和 年 月 日 ()		(印)	(印)

問題①

子どもや自転車の急な飛び出し、高齢者の横断、見通しの悪い交差点等、運転時には見えない [] することが重要。危険を予測するには [] が有効。

- ①第六感 ②壁を破壊 ③指差呼称 ④信号無視 ⑤危険を予測

問題②

雨天時は [] を落とし、無理な進路変更は避ける。降雪時は十分な [] を保ち無理な運行は避け、積雪路面では [] を装着すること。夕刻時にはヘッドライトの早めの点灯、状況に応じ [] ・ロービームを使い分けること。

- ①車間距離 ②チェーン ③速度 ④ハイビーム ⑤レーザービーム

問題③

交通事故や車両故障が発生した場合、①負傷者を [] 、必要であれば救急車の手配、②事故車両を安全な場所に移動、[] を点灯する等、事故の続発を防ぐ、③ [] に連絡、事故が発生した日時、場所、死傷者の状況等を伝える、④事故の状況を速やかにかつ適切に [] へ報告する。

- ①ハザードランプ ②事業者 ③救護 ④車両故障 ⑤自宅 ⑥警察

項目⑧ 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 まとめ

- ・ 常に危険を予測し、危険を回避する運転を心がける
- ・ 危険予知訓練を行い、指差呼称の習慣づけを徹底する
- ・ 交通事故や車両故障、自然災害などが発生した場合に備え適切に対応できるよう準備をする

結果	受講者が気づいたこと
/ 10	
指導者からのコメント	